

12月定例会 報告

12月3日(金)~12月20日(月)の18日間

慎重に審査した結果、
上程された議案や同意案件については
全て賛成、請願については全て不同意と
いたしました。
今回の一般質問は持ち時間の関係で
実施しませんでした。
今回は議案質疑を中心に紹介いたします。

本会議での議案質疑

豊田市山村地域の持続的発展及び 都市と山村の共生に関する条例

Q.質問 条例制定の必要性は？

A.答弁 ▶ 山村地域は、豊かな自然環境のほか、自然と共生する暮らしの中から生まれた歴史や文化、充足感や安心感など、市民に広く共有すべき様々な魅力や価値を有している。
▶ この条例は、こうした山村の魅力や価値を次の世代につないでいくため、共働による活力ある山村地域づくりと都市と山村の共生についての基本的な考え方や、様々な主体の役割、施策の推進体制等を明らかにすることが必要であることから制定するもの。

豊田市公契約条例

Q.質問 期待する効果は？

A.答弁 ▶ この条例は、公契約の適正な履行の推進に加え、適正な労働環境の確保と、地域経済の活性化を目的としていること。
▶ この条例により、本市の地域特性に即した施策を推進することで、この目的を果たし、「新・担い手3法」が要請する「働き方改革の推進」、「災害時の緊急対応強化」に 대응することを期待するもの。

豊田市教育行政計画の策定について

Q.質問 策定の経緯は？

A.答弁 ▶ 第4次教育行政計画の策定については、令和2年度・令和3年度の2ヵ年を駆け進めてきた。令和2年度には、アンケート調査及び第3次計画の評価を実施し、教育分野に係る市の現状と課題を整理した。
▶ 整理した課題等を踏まえ、令和2年度から令和3年度の間、教育行政計画審議会を5回、庁内推進会議を6回開催し、計画策定について協議を行った。
▶ さらに、令和3年7月に実施したパブリックコメントの意見も反映し、教育委員会定例会での議決を経て、計画案を策定している。

地域生活委員会での質疑

指定管理者の指定について (豊田市里山くらし体験館)

Q.質問 豊田市里山くらし体験館「すげの里」をオープンして以来、現在までの利用状況について、その傾向は？

A.答弁 平成23年の里山くらし体験館オープン当初より運営をお願いしていた地元の新盛里山耕実行委員会に力があり、活発な活動を行っていた平成27年に利用者数が約5400人とピークになったが、その後、減少傾向となり、令和2年度以降はコロナ禍で一時施設を閉鎖、活動自粛もあり利用者が大きく減少している。また、宿泊者数についても同様に、平成27年度の約500人をピークに減少傾向にある。



耳が不自由です